

43市町村の 目標達成率	達成項目数(割合)	
	R6評価	R7中間評価
100% 「◎」	17項目 (44%)	24項目 (59%)
75%以上 「○」	14項目 (36%)	12項目 (29%) ※うち98%達成が4項目、95%達成が2項目
50%以上 「▲」	6項目 (15%)	5項目 (12%)
49%以下 「×」	2項目 (5%)	0項目 (0%)



期末評価に向け、
引き続き、他市町村の
好事例等を参考に
改善を図っていく。

※14項番のうち、「期末評価において評価を実施する」項番8を除く、13の項番の目標計画41項目(うち新規2項目)を評価

【▲の分析(主な要因等を整理して記載)】

項番1-①-(2)「標準収納率を達成」⇒ 達成率は約51%(未達成21市町村：R6から4減)

全市町村で、様々な取組みを継続的に行った結果、標準収納率を達成した市町村は増加したが、依然として達成が困難な市町村が半数程度あり、引続きの対策が必要。

項番1-②-(2)「滞納繰越額の減少」⇒ 達成率は約63%(未達成16市町村：R6から4増)

全市町村で、様々な取組みを継続的に行った結果、新たに滞納繰越額が減少した市町村もあるが、全体として減少が図れなかった市町村は増加しており、引続きの対策が必要。

項番2-②-(1)「第三者行為の早期の把握のための関係機関との連携体制の構築」⇒ 達成率は約65%(未達成15市町村：R6から1減)

求償事務を大阪府国民健康保険団体連合会に委託し、適切に対応できていることもあり、早期把握に資するための連携体制は、検討中を含め確保できていない市町村がある。

項番4・5「国保ヘルスアップ事業費の積極活用(補助金の最大限獲得)」⇒ 達成率は約65%(未達成15市町村：R6から1減)

補助対象となる事業でも規模や実施方法により必要経費が大きく発生せず補助金の上乗せが難しい市町村もあるが、補助金獲得のため交付要件を踏まえ事業を見直す必要のある市町村がある。

項番11-1「国保未適用者等の的確な把握」⇒ 達成率は約74%(未達成11市町村：R6から5減)

納付相談時等に社保適用の確認は行われているが、来訪者以外への的確な状況把握に課題があったり、日本年金機構から得られる情報の活用が不十分と考えている市町村がある。

【R7新規項目(主な要因等を整理して記載)】

項番3-④-(2)「資格重複状況結果一覧を活用した適正な資格管理」⇒ 達成率は約86%(未達成6市町村)

多くの市町村で、オンライン資格確認等システムを活用した資格管理が行われているが、具体的に「資格重複状況結果一覧」を活用していない市町村がある。

項番12「高額療養費の支給申請手続きの簡素化の実施」⇒ 達成率は約84%(未達成7市町村)

多くの市町村で、全年齢を対象とした高額療養費の支給申請手続きの簡素化が行われており、未実施の市町村においてもR7年度内の実施予定を含め、実施に向けた検討が行われている。